平成28年度　第1回 金沢市介護保険運営協議会	資料４
平成28年5月10日	

高齢者のボランティア活動に関するアンケートの調査結果について

１　調査の目的

高齢者のボランティア活動に関する意識を調査し、介護支援ボランティアポイント制度(※)の創設や介護予防・日常生活支援総合事業における担い手確保に向けた基礎資料を得るため

（※）　介護保険対象事業所等で利用者の話し相手やレクリエーションの指導・補助等のボランティア活動をすることにより、現金や商品券等に交換できるポイントが付与される制度を想定

２　調査の概要

(1)　実施時期　平成 27 年 11 月 20 日(金)から同年 12 月 7 日(月)まで

(2)　対 象 者　金沢市在住の要支援・要介護認定を受けていない又は二次予防事業対象者（要支援・要介護状態になる恐れがあると判断された方）でない 65 歳以上の方 3,000 人（無作為抽出）

(3)　調査方法　郵送配布・郵送回収

(4)　調査項目　25 項目　　回答者の年齢や性別等、ボランティア活動に対する意識、ボランティアポイント制度の創設に関する質問　など

(5)　回 収 率　61.6%（1,848 人が回答）

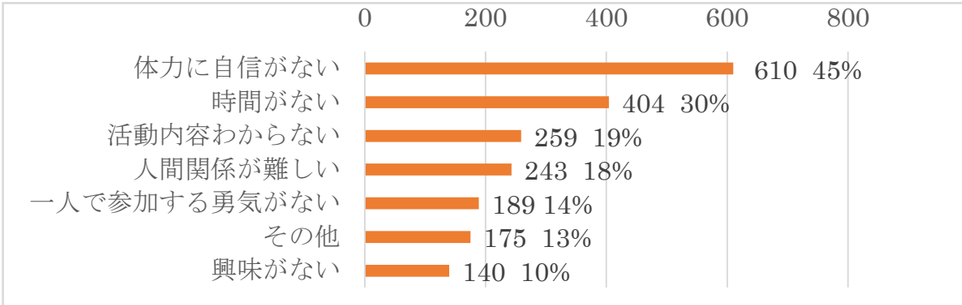
３　調査結果と今後の対応

(1)　ボランティア活動に関する意識等

①　ボランティア活動への参加意欲

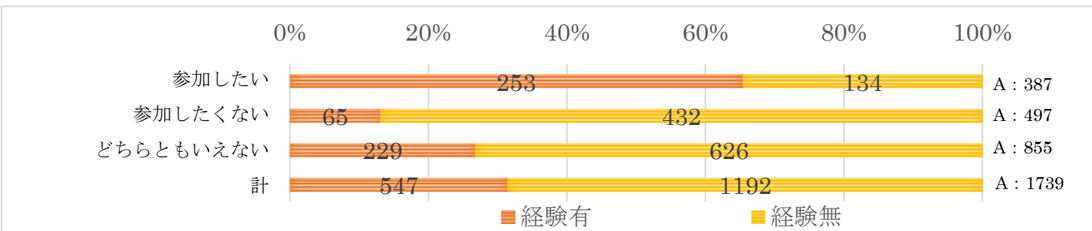
参加したい	参加したくない	どちらともいえない	無回答
397（22%）	505（27%）	873（47%）	73（4%）

「参加したくない」又は「どちらともいえない」と回答した理由（複数回答）



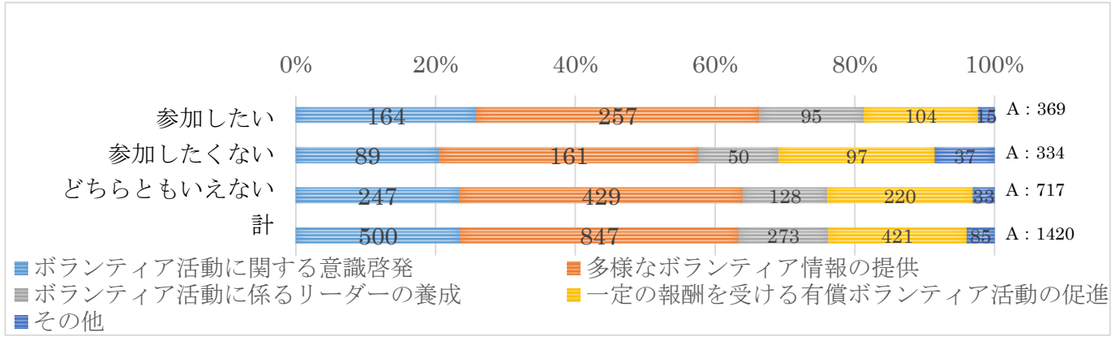
※　「ボランティア活動への参加意欲」の質問において、「参加したくない」又は「どちらともいえない」と回答した人は約８割いるが、その中で「体力に自信がない」との回答が約半数と多く、体に負担とならないボランティア活動についての情報を提供する必要がある。

②　ボランティア活動経験



※　ボランティア活動について３人に２人が「経験なし」と回答している。経験がない人は、ボランティア活動への参加意欲が低い傾向にあり、ボランティア活動が介護予防につながることなどを周知することで、最初の一歩を踏み出すきっかけをつくる必要がある。

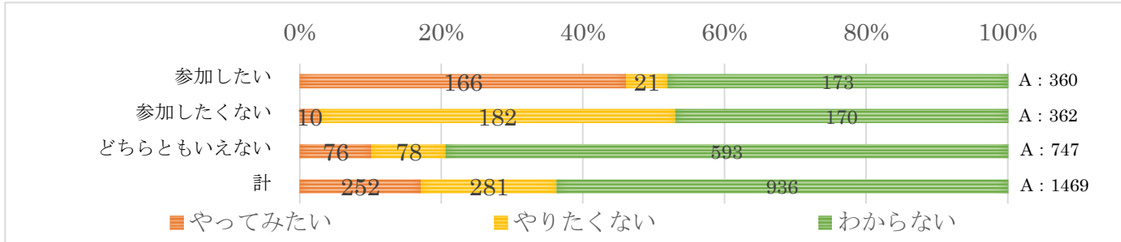
③　ボランティア活動への参加者の増加に必要な取組



※　「参加したくない」「どちらともいえない」と回答した人の中で、ボランティア活動への参加者の増加に必要な取組として、「多様なボランティア情報の提供」との回答が多く、多様な情報提供を進めていくことで、理解を得られるよう図っていく必要がある。

(2)　ボランティアポイント制度について

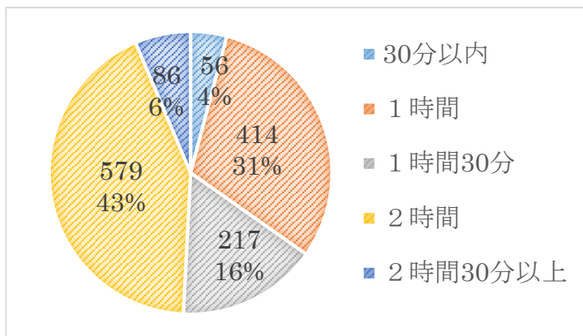
①　ボランティアポイント制度を利用したボランティア活動に対する印象



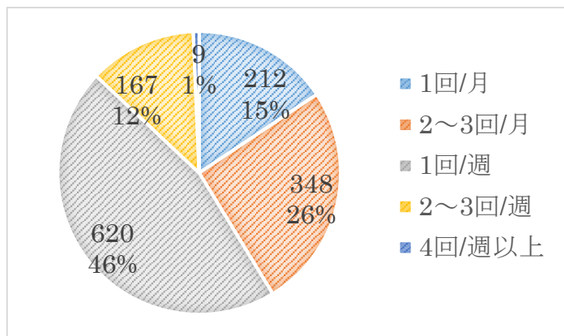
※　「参加したくない」とした人の約 50%、「どちらともいえない」とした人の約 80%が、ボランティアポイント制度について「わからない」と回答しており、新たに創設する制度であり、制度の趣旨や内容について丁寧に説明していく必要がある。

②　ボランティアポイントの対象となるボランティア活動について

１回当たりのボランティア活動参加時間



ボランティア活動参加頻度



※　ボランティアポイントの対象となるボランティア活動をする場合、参加できる活動時間について１回当たりの参加時間は「２時間」、次いで「１時間」との回答が多く、参加できる頻度については「１回/週」、「２～３回/月」で合わせて 70%を超えている。

今回のアンケート調査結果を踏まえ、介護支援ボランティアポイント制度の創設に向けて、介護予防・生活支援専門部会で検討を引き続き進めていく。